

# 退屈と深い空

vol.2

いき



星も見えなくなったあの人に  
光の道筋を教えてあげたい  
淋しくなる出来事  
切なくなる風景  
あの人の中にいくつもの涙を  
取り除いてあげたい  
今すぐにでも駆け寄って  
抱きしめてあげたい  
あの人を全てを



イスに座り  
足を組み  
真っ直ぐに見つめる  
優しい目  
細く長い指を  
私の方へと伸ばし  
こっちへおいでとささやく  
いつも  
ここで  
こうして  
あなたは  
静かに笑い  
綿のように  
やわらかく  
抱きしめてくれる  
このまま  
このまま  
ずっと  
身体をあずけ  
ほかの誰よりも一番に  
ぬくもりを感じていたいから  
あなたの果てまで  
私を連れて行って



通り過ぎる店から聴こえた  
懐かしいあの曲  
一瞬で  
過去へと引き返す  
頭の裏側  
なんの疑いもなく  
あの人と  
並んで歩いた  
この道は  
今はもう  
ただ哀しく通り過ぎるだけ

□

ごまかしが利かないから

困るよね

恋って



立ち止まって  
見上げた空に  
一面の星  
腕を真っ直ぐに伸ばすと  
手が届きそう  
あの頃の私は  
どこに行ってしまったの  
心はいつも  
空よりも  
星よりも  
ずっと遠くへ向かっていたのに  
目の前に見えるものが  
全てじゃないこと  
わかってる  
未来は  
どこに  
あるのだろう



帰りの時間が近づくと  
少なくなる口数  
明日もあさっても会えること  
わかってるのに  
触れ合えば  
触れ合うほど  
どうして想いは  
深くなっていくのだろう